

# まこと通信

まこと通信は「まこと」と利用者様・ご家族様の情報共有のひとつとして発行しております。まことの提供サービスを紹介し、実施している内容に対して少しでもご理解とご協力をいただき、よりよい介護サービスの提供に努めて参ります。発行は毎月10日を予定しています。

## 周辺症状と生活障害 (Part II)

前回は、帰宅願望の事例を紹介しました。

紹介の中で、帰宅願望の見方について少し触れました。「帰宅願望」という見方は、職員からの見方であり、利用者の側から見ると、「帰らなさいいけない事実がある」という立場によって、状況の捉え方に違いが生じるということを説明しました。そして、利用者への対応が、「上手な職員」と「下手な職員」がいることを説明しました。この対応の違いは、「ありのままに受け入れる」という介護の世界では良く使われる言葉が、実は、大変難しいもので、医師や看護師、ベテランの介護職員でも、認知の周辺症状が出ている利用者の対応には苦慮しています。

そこで今回は、利用者との介護職員、家族(第三者)と、その結果の因果関係について考えてみたいと思います。

「ありのまま」というフレーズから、皆さんが頭に浮かんだのは何でしょうか？

『アナと雪の女王』の主題歌「let it go～ありのまま～」が浮かんだ方も多いのではないのでしょうか。子供から大人まで、皆が歌い、昨年の忘年会では、仮装しながら歌ってくれて、皆を楽しませてくれた職員もいました。翻訳の歌詞を見て見ると、次のフレーズを3回繰り返しています。

ありのままの姿見せるのよ  
ありのままの自分になるの  
わたしは自由よ  
これでいいの 少しも寒くないは

この歌詞から言えることは、この歌は一人称です。私です。アニメを見ていない私は、主人公に何が合ったかはわかりませんが、抑圧された状況から自分を承認し(自己受容)、次に向かわせているのがわかります(自己制御)。自分の置かれている状況を把握して、自分を認めることで、心の健康を得ることができ、自分が好きになり、自分の持っている能力を最大限に発揮することができます。

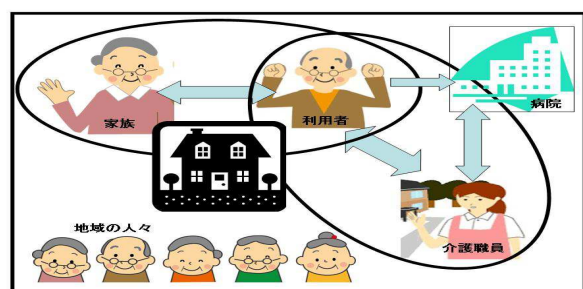
認知症の初期の段階では、自分が壊れてくる感じを自覚しつつも、その状況を受け入れられず、不安になり、自分の殻にこもってしまったり(うつ状態)、周囲に対して反発してしまう傾向が見られます。自分が自分でなくなる感じは、自尊心が作られないことになり、人に対する優しさも生まれず、個が個として成立していないことになり、ここを理解しておくことが、私たち介護職員には、まず必要です。

次に、中島みゆきさんの「糸」という歌詞です。

縦の糸はあなた 横の糸は私  
織りなす布は いつか誰かを  
暖めうるかもしれない

縦の糸はあなた 横の糸は私  
織りなす布は いつか誰かの  
傷をかばうかもしれない

縦の糸はあなた 横の糸は私  
逢うべき糸に 出逢えることを  
人は 仕合せと呼びます



私(一人称)と、あなた(二人称)と、誰か(三人称)ができます。私とあなたの関係の結果の布は、何になるかはわからないが、私とあなたの関係が問われています。少なくとも、一つの方向性(布)で、まとまらなくてはなりません。縦の糸が、斜めの糸かも知れませんが、均一ではないかも知れません。それを、横の糸の私は、上手に、時には、縦や斜めや横とならなくてはなりません。誰かを暖めたり、傷をかばったりすることは、私(介護職員)も、あなた(認知症の方)も、ともに自尊心を高めることができ、社会の一員であると認識できます。

繰り返しの三回目のフレーズには、「仕合せ」を「幸せ」としていかない点が興味深いです。人の縁を、善も悪くも、すべてあわせて考えているといえます。私たちも、成功した結果ばかりを追うのではなく、その過程を通して、様々なことを学ぶように心がけ、その関わりを大切にしていける介護が、「ありのままに受け入れる」ということの基本であると考えます。

## 小規模まこと ほのぼの日記

「一日、一笑」を目標にまことに来ると毎日がレクリエーション活動のように楽しんでいただけるよう試行錯誤で頑張っています。



### ひなまつり



今月は、ひな祭りということで、皆さんとひな人形を作成しました。型紙を折るのに苦戦しましたが、それぞれ、かわいいおひな様を作ることができました。

### 民謡鑑賞会



『翔謡会』の方をお招きして、スコップ三味線を披露していただきました。とても素敵な演奏で、皆さん楽しんでいる様子でした。なかには感激して涙を流していた人もおりました。

### 蔵開き



この日は、福司酒造さんで行われた蔵開きの一般公開に行ってきました。皆さん甘酒を飲まれ「とても美味しいね」と笑顔で話されていました。また来年も行きたいですね。

### お茶会①



今回の外出レクは、六花亭でお茶会を行いました。皆さん、それぞれ好きなケーキを頼まれ、「普段はあまり食べないからね」と、喜ばれていた様子でした。

### お茶会②



こちら、お茶会での1ショット。大きなケーキをほおばり、「美味しいね」と、笑顔でお話されていました。

### 真剣勝負!



リビングで将棋をされていました。どちらも、負けず劣らずの接戦で、夢中で勝負されていました。

## 西崎の奮闘記

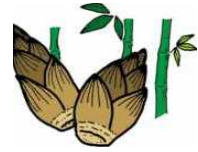
春の温かい陽気が続いていると実感しております。当小規模多機能型居宅介護まことでも、月々に企画された外出行事以外に、近所への散歩や事業所車両でのドライブなど、外へ出る機会が日に日に増えており、利用者様も春の実感を楽しまれている様子です。

そして、当小規模では、昨年の介護保険法の改正に伴う今年度の初取り組みとして、毎年恒例であった外部評価が行われなくなり、その代わりに、3月29日に、内部による評価を実施いたしました。以前は、調査を外部の方に委託して行っておりましたが、今年度は、当事業所系列の大町事務が主体となり、ご家族様へのアンケートと小規模多機能の活動の評価を実施いたしました。特に、ご家族様方には、お忙しい時間を割いてアンケートにご協力頂き、大変感謝いたしております。今回行われた評価の結果は、5月の運営推進会議で公表していく予定です。

話が変わり、4月より、当小規模に新しい職員が2名配属されました。その内の1名は、今年高校を卒業し、「お年寄りとお接するのが好き」という志望動機で、介護の職に就きました。年長者である私達職員も、新人職員の純粋な思いを崩さないよう、正しい教育と指導を行いつつ、自身も初心に振り替える良い機会ではないかと感じている次第でございます。

## 小規模やよい ほのぼの日記

喜びや楽しみはもちろん悲しみも共有しながら、それぞれの個性を大切に生活を送っていただけるように、安心・安全をモットーにサービスの提供に努めます。



### 雑壇の片付け



雑壇も無事終了しました。「若い子がお嫁に行けなくなったら困るでしょ」と、皆様早々に片付けてくださいました。お気遣い、ありがとうございます。

### 福司見学①



酒造解禁とのことで、福司に見学に向かいました。甘酒を試飲する際には、皆様本当に美味しそうに飲まれていました。こちらまで、楽しい気持ちになりますね。

### 福司見学②



酒樽の前で記念撮影。中々見れないお店の裏側を見て「こうやって作られてるんだねえ」と興味深く見学されていました。

### 鉢植え♪



この日は、皆でマリーゴールドの鉢植えを行いました。「芽出るのが楽しんだね」と、毎日水やりを欠かさずやって下さっています。

### たこ焼き作り★



今回は、たこ焼き作りをしました。「難しい!」と、悪戦苦闘しながらも、綺麗なたこ焼きが沢山出来上がり、美味しく召し上がっていました。

### お誕生日★



3月生まれの利用者様です。他の利用者様と協力して出来上がったケーキを見て、「あら、綺麗にできたねえ」と、笑顔いっぱい。お誕生日、本当におめでとうございます。

## 本間の奮闘記

あっという間に3月が通り過ぎ、4月を迎え、少しずつ気温が暖かくなってまいりました。利用者様の服装も、冬物から春物へと変化しておりますが、この時期は、なにを着たらいいか迷ってしまうと話されております。もう少し暖かくなれば、外での体操や外出の機会も増えてまいります。

先月、数名の利用者様と別保公園に行ってきたのですが、散歩するにはまだ寒く、早々に退散してきました。今年度からは、屋内外での余暇活動にも力を入れ、出来る範囲で取り組んでいきたいと考えております。時には、やりたくない日も、気分の乗らない日もあります。そんな時は、無理強いせず、眺め見ているのもひとつの選択肢だと思います。過ごし方は、人それぞれ、何もしないという選択もありますが、参加したくなるような声掛けや働きかけが必要になります。利用されている方々が、日々楽しく過ごせるよう、職員一人ひとり考えていきたいと思っております。

## グループホームまこと ほのぼの日記

☆天気の良い日は外に出掛けよう! 家の中でも、何か楽しい事はないかな? 事前に計画した行事は少ないのですが、思い立ったが吉日! 何でもやっちゃおう! の精神で毎日楽しんでいきます。



### ☆みんなでカルタ☆



ボランティアの方が、まことに来設し、みんなでカルタ大会を行いました。「これかな?」と、札を一生懸命探し、楽しまれていました。

### ☆日常の一枚☆



日常の一枚。神経衰弱をしながら、「ここだったか?」と、カードをめくり、「あら違うわ!」と、笑顔で話し、楽しいひと時を過ごしました。

### ☆餃子作り★



レクの一環で、利用者様と昼食の餃子作りを一緒に行いました。スタッフと一緒に、上手に形を作り、皆様と、おいしくいただきました。

### ☆ひな祭り①☆



まことに、ひな祭りを開催。ひな壇を飾り、「綺麗だね〜」と、皆さま笑顔で話していました。順番に写真を撮り、「うちは〜」、「昔は〜」と、話に花を咲かせていました。

### ☆ひな祭り②☆



ひな祭りという事で、お昼にご馳走。「美味しいね〜」と、ご満悦な様子でした。

### ☆ひな祭り③☆



ご馳走の後には、デザートもありました。「美味しいね〜」、「別腹だね〜」と、楽しそうに話され、ぺろりと皆さま完食されていました。

## 柴田の奮闘記

釧路もようやく春らしい暖かさが感じられるようになりました。GHまことでも、長かった巣籠もり生活から終わりを迎え、これからは、外出を大いに楽しみたいと計画しております。釧路の桜の開花予報も、5月11日との事で、そこに向けて早速レクレーション委員は、花見の準備に取り掛かります。いつものように、花を愛で、美味しいご飯を食べ、春を感じて楽しんで来たいと考えています。

さて、GHまことにも、この4月より、新卒生の職員が仲間入りしました。毎年、新卒生の受け入れをしていますが、初めての社会人生活と、介護の現場の大変さに、なかなか定着できない現状があります。グループホームは、介護だけではなく、基本的な家事全般が事前に備わっていなければなりません。そこから、全てを身に付ける必要があります。それは容易ではありません。そして、24時間の勤務シフトに、体と心が慣れるまで、しばらく時間もかかります。過去には同期がいない事から、うまく悩みを解消できず、その結果、介護を離れていった職員もいます。そのような事についても配慮しながら、新入職員担当の中堅職員は、過去の指導経験から学び、真摯に新入職員と向き合っています。毎日の業務終了後に振り返りを行い、その日に抱いた疑問や不安は、その日に解消できるように努めています。GHまことで働く職員も、年齢や経験年数、性別も性格も、得手不得手も全部バラバラ。でも、必ず新人の時代がありました。新人が抱える悩みは、他の職員も通ってきた道です。利用者へのケアのみならず、仕事に対する考えや悩みも共有し、一日でも早くグループホームまことの介護職員だと、自信と自覚が持てるよう、サポートしていきたいと思っております。皆様も温かい目で見守ってください。

## グループホームやよい ほのぼの日記

馴染みの物に囲まれた、くつろぎのある暮らしの中で、その人らしい生活をして頂きたいと願っております。「共に考え、共に学び、共に生きる。」を目標に職員一人一人が笑顔があふれた暮らしの提供を心がけたいと思います。



### ひな祭りパート1



今年のひな祭りは、1・2F合同で桜餅作りを行いました。「早く食べたいね」と、皆さん笑顔でもち米を潰し、餡子を挟んでいました。

### ひな祭りパート2



入居者様からは、「ひな祭りがいい？自分の子供にやったね」と、懐かしむ声も聞かれておりました。自分の分の桜餅は、皆さん残さず完食されていました。

### ☆開設記念日☆



3月15日で、開設3周年を迎えました。初めて一緒に開設記念日を迎えた入居者様もおり、出前を前に、「こんなにいいのか」と驚かれていましたが、「美味しい」と、笑顔で話されておりました。

### 開設記念日2



4年目を迎えたグループホームやよいです。4周年、5周年と、笑顔で迎えられる様に、職員一同努力してまいりますので、今後とも宜しくお願い致します。

### ホワイトデー！！



今年のホワイトデーは、牛乳寒天を使用し、自分で果物やジャムを飾り付けていただきました。自分の分をしっかりとデコレーションし、「完成したよ」と、職員に笑顔で教えてくださいました。

### 今日のおやつは・・・？



グループホームやよいでは、月に2回ほど、お菓子作りレクを行っています。この日は、「男の手料理を見せてやる」と、男性入居者様が腕を振るってくださいました。

## 石黒の奮闘記

釧路もだんだん暖かくなり、雪がなくなってきました。日も長くなり、「カーテン閉めないで、夕日が見たいから。」と、夕日を見ながら夕食をとられている方もいます。夕日を見ながら食事をするのは、その方にとって、大切な時間なんだと感じました。3月は、外出が難しい代わりに、お菓子作りや室内レクを行っています。ひな祭りの桜餅作りでは、「こうするのいいんだよ。」と、ご夫婦で二人三脚。一人はパウエルを抑え、一人は棒で餅米をつぶしています。その時の顔は、生き生きとされており、うれしい気持ちになりました。夫婦でなくとも、利用者様同士でも、生き生きとした生活が出来るよう、支援していきます。まだ早いかもしれませんが、外出も予定しております。外での体操やドライブなどのレクリエーションを増やし、良い刺激になればと思います。

話は変わりますが、今年は、新入職員がおらず、事業所間での異動で、職員の補充を行いました。まずは、利用者様の話を聞き、行動をよく観察し、相手が何を求めているのかを感じ取る必要があります。私自身、「笑顔」「挨拶」「言葉遣い」から、質の高いコミュニケーション、チームワーク能力等を身につけていきたいものです。

今月もよろしくお願ひいたします。

## 小さなデイサービス緑ヶ岡ホーム ほのぼの日記

「我が家スタイル」の緑ヶ岡ホームの日常です。今月も笑顔の絶えない利用者様との触れ合いを綴って参ります。いつまでも「本物のお客様第一主義」を念頭に、職員一人ひとりが心配りをマメに行い、心から愛情をもって利用者様に接して参ります。



### 鈴カステラ作り



先月のどら焼きに引き続き、今月は鈴カステラを作りました。くるくると綺麗に焼いて下さいました。中身は、あんこたっぷり、皆さんで美味しく頂きました。

### いつもお手伝いありがとう



屋敷後の食器拭き。「私たちがやるから持っておいで～」と、いつも声をかけて下さり、素早く食器を拭きあげてくれるのでとても助かっています。いつもありがとうございます。

### 美味しい♪手作りおはぎ



「おはぎが食べたいね～」と、利用者様とお話して、今回早速おはぎ作りを行いました。皆で協力して、丸めたり、餡で包んだりしたおはぎは、とっても美味しく、思わずこの表情になりました。

### ツイスト



「昔はよく踊ったのよ～」と、ツイストを披露してくれました。懐かしさを感じながら、知らない職員に指導していると、「私も踊ったことあるよ」と、皆さんが集まり、ダンス会になりました。楽しく身体を動かすのはいいですね。

### 誕生日おめでとう☆①



3月生まれの方の誕生日会を行いました。手作りケーキに、皆さん笑顔。いつも冗談を言い合いながら笑ってくれる利用者さん。素敵な1年を過ごしてくださいね。

### 誕生日おめでとう☆②



誕生日会パート2です。誕生日の男性陣を、記念に撮影。手作りケーキを喜んで召し上がっていました。いつも優しい男性陣で居てくれて、とても嬉しく思います。これからも宜しくお願いします。

## 高橋の奮闘記

雪解けが進み、すっかり釧路も春の訪れが感じられます。春は、別れと出会いの時期です。私事ではありますが、この度、4月30日をもちまして退職する運びとなりました。まことに入社し丸5年、私は「リハビリサポートまこと」で様々な経験をさせていただきました。介護について全く知識がない状態で、短期大学を卒業後に、介護の業界に飛び込み、小規模まことで一から温かく、時には厳しく指導していただきました。小規模まことで学んだことを活かし、小さなデイサービス緑ヶ岡ホームへ異動。管理者という責任ある業務を行わせてもらう機会もいただきました。嬉しかったこと、苦しかったこと、いろんな場面が思い起こされますが、何事にも積極的に取り組むチャンスを与えてくれた社長、温かい先輩、同僚、優れた後輩に恵まれ、自分の力を存分に発揮できる職場と巡り合えたことは、私にとって最高の幸せであったと今改めて思っています。

緑ヶ岡ホームでは、頼りない未熟な管理者だったにもかかわらず、文句ひとつなく、温かい眼差しで見守っていただきました。家庭的な雰囲気の中で、笑い笑顔が溢れる温かな雰囲気をモットーに取り組み、利用者様やご家族様・緑ヶ岡花園町内会の方と過ごす日々は、とても有意義で楽しい時間でした。皆様の温かい眼差し・支えがあったからこそ、私が目指していた地域に根付いたデイサービスの展開ができました。「利用者様の笑顔」「いつも色々ありがとうございます」と優しいお言葉。できなかったことをあきらめることなく、一生懸命に取り組み、一歩ずつ前進していく姿。利用者様の笑顔に勇気付けられ、元気を与え続けてもらった5年間でした。皆さんに出会い、一緒に過ごしてきた時間は、私の宝物です。1人で乗り越えられない、何らかの壁が目の前にあった時に、越えられるように仲間が支えてくれたからこそ、ここまでこられたことに感謝しております。また、直接、皆様にお会いし、ご挨拶出来ない方もおりますが、この場をお借りして、ご報告とご挨拶に変えさせていただきます。今までも本当にありがとうございました。

## 小さなデイサービス大町 ほのぼの日記

『利用者様と心をかよわせ、共に生活を支えあう』を、モットーにスタッフ一同、日々頑張っております。



### お菓子作り



お彼岸もあるし手作りおやつは何が良い？と聞くと、『お汁粉』と答えてくれたので作りました。豆腐でねった白玉粉を茹で、餡をかけた簡単なお汁粉でしたが、とても美味しかったです。

### 体操と歌



毎回、体操と歌を唄いますが、最近では二部合唱や輪唱などにも挑戦しています。とても上手なので、大町合唱団をつくってどこかで披露したいものです。

### もう春だね



お初めのふきのとうを、皆で下処理をして、今日の昼食に。何になるのでしょうか？出て来たのは、葉の方は天ぷら、中の実が酢味噌和えでした。ちよっぴり苦かった。

### ゲーム



頑張って色紙を張ったカード。今回はどれだけ時間内でカードを取れるか、ゲームをしました。皆さん、必死に挑戦していました。久々に汗をかいてしまいましたね。

### くす玉



手先の運動として、折り紙でくす玉をつくっています。最近では、大小様々で、折り方も高度な技術を要するものが増えてきました。頑張ってくださいませ。

### Wでhappy



3月の卒業式シーズン。今年は雪も降り、まだまだ春は遠いと思っていました。大町では桜の花でいっぱいです。ご近所さんから、桜の枝を頂きました。満開で綺麗ですね。

## キャリアアップ支援研修

### 第7回「元気になる老人介護～ケアの専門性と認知症～」

3月6日(日)釧路プリンスホテルで、「元気になる老人介護～ケアの専門性と認知症～」が行われました。講師は三好春樹先生でした。今回は、参加者が3人1組でグループを作り、たくさん問題を検討する参加型のセミナーでした。

三好先生は、今から41年前、24歳の時に、介護の世界(広島県の特別養護老人ホーム)に入られたとのこと。まず、その当時の特別養護老人ホームでの思い出をお話して下さいました。41年前の特別養護老人ホームの採用条件は、「腰が丈夫であること」だったそうです。41年前の介護職員(当時は寮母と呼ばれていた)は、みんな力任せで介助をしていたとのこと。そのような力任せで介助をする介護職員のことを、三好先生は、「介護力士」と表現されています。

#### (病院を退院して特養に入所した利用者が元気になる理由)

病院を退院して三好さんの勤める特養に入所してきた利用者様は、皆さん、オムツをしていて、虚ろな表情をされていたそうですが、だんだん元気になる、トイレも行くようになり、笑顔が見られるようになりました。何故、利用者は元気になったのでしょうか？その理由は、「介護職員(寮母)が利用者である老人の嫌がることはしなかったこと」です。医療現場では、急性期の患者が運ばれてくるので、命を救うことが優先になり、やむを得ず、身体拘束などを行わなければなりません。しかし、介護現場では、そのような非常事態はほとんどなく、尊敬と感謝の気持ちをもって、利用者である老人に接していかなければなりません。「利用者が嫌がることはしない」…これが、一番大切な基本で、これがなければ、どんなに介護職としての専門性をもっていても、介護はできません。

#### (身体拘束を1つ認めてしまうと、虐待につながる。)

病院で入院している患者という状況なら、身体拘束になっていたと思われるケースでも、三好先生は、その利用者様にタバコを吸ってもらいながら寄り添って、落ち着いてもらった事例や職員とボランティアが交代で30分間ずつ寄り添った事例を紹介して下さいました。0(の身体拘束)を1にするのは大変だが、1が2、3になってしまうのは、あっという間のことです。

#### (見当識障害…認知症の症状。自分が一番輝いていた時代に戻る。)

働き盛りだった頃など、「自分が一番輝いていた時代」に戻った状態の利用者様の事例を紹介した後、見当識障害のお話もありました。見当識障害とは「今がいつか(時間)」「ここがどこか(場所)」がわからなくなる状態です。環境が変わった時に強く表れるとのこと。アルツハイマー型認知症の方は、「物忘れ」に続いて、「見当識障害」も起こしやすいといわれています。今現在を、自分が若かった頃と勘違いして、周囲の人や状況をその頃に合わせて解釈しようとする傾向があり、たいへい、利用者様ご自身が一番輝いていた時代、例えば会社でバリバリ仕事をしていた頃や、子育てに追われていた頃に戻ることが多いようです。昔のことを今のように話されますので、「昔の思い出の中に生きている」ように思えるとのこと。その後、認知症の症状である「物忘れ妄想が現れるメカニズム」と「人物誤認」についての話がありました。

#### (物忘れ妄想が現れるメカニズム)

立場が強かった者が認知症になると、立場の弱かったはずの者が介護者となり、その立場が逆転して、かつての自分と今の自分にギャップが生じます。物忘れ妄想を起こす方は「面倒を見ることは得意だが、面倒を見られることは不得手」なため、立場が逆転することに強い不安を感じます。それで、最も身近な介護者に攻撃性を示す。物を盗られたという訴えは、ギャップを埋めるため、自分のプライドを守るための必死の抵抗であるといわれています。そして、プライドや家庭内の立場が守られている間は、物忘れ妄想は起こりづらいとのこと。

#### (人物誤認…認知症の症状)

長年連れ添った妻や夫、あるいは同居している家族の顔まで忘れてしまう認知症の症状です。認知症を発症すると、記憶することが苦手で、特に初期には新しい事ほど覚えることが困難になりますが、さらに記憶障害が進んでいくと、古い記憶までもが徐々に失われていくため、顔馴染みであったはずの近所の人や顔などを忘れてしまうことも珍しくはないようです。人物誤認の症状が現れた認知症の方に「違うでしょ!」のような否定的な言葉をかけると、言われた法はかえって混乱してしまうことが多い。したがって、人物誤認の症状の対応は「否定しない」ということです。認知症の方は、目の前にいる相手(例 介護職員)の名前は思い出せなくても、向こうが自分のことをよく知っている人物だということは理解している方も少なくないので、怒鳴って否定したり、無理に納得させようとすると、混乱してしまった認知症の方が興奮してしまいます。そのため、人物誤認に対しては否定しないで、その場限り、別人になりきった気持ちで接した方が良いケースが多い。それで、三好先生は以下の対応方法を教えて下さいました。

- ・一方的にしてあげている介護にならないように、「さりげない介護」を行う。
- ・認知症の老人に誰かに何かをしてあげる場面を作る。

#### (介護の魅力3K)

3Kとは、ブルーカラー(現業系、技能系)とされる職種について、その労働環境・作業内容が「きつい(Kitsui)」「汚い(Kitanai)」「危険(Kiken)」であることを意味し、そのような職場を「3K職場」とも言います。三好先生は「介護の魅力3K」(①感動、②健康、③工夫)について教えてくださいました。



## 堤の奮闘記

日中の暖かさが増え、雪解けが進み、落の臺もあちらこちらに顔を出し始めてきました。職員が、ご利用者様に春を感じて欲しいと、落の臺を取って来ました。昼食にと、朝から皆で下準備…。その前に、「血压測って～」と私…。皆様、お昼に間に合わせなければと聞く耳持たず…。作業が終わって、一服してからとなりました。落の臺は、天ぷらと、酢味噌和えとなり、皆様「美味しいね」と、お話をされながら召し上がられておりました。

また、町内会の方から桜の木を頂きました。一足先に春を感じる事が出来ました。

3月末に、4ヶ月ぶりにご利用を再開されたご利用者様がいらっやいました。笑顔で、元気に来所されたお姿が見られ、ほんとうに嬉しく思います。他のご利用者様も、久々にお会いでき、話に華が咲いておりました。

### 講習会に参加して

グループホームまこと 工藤

今回、三好先生の講義に参加しました。自分の体験を、知識と笑いを交えながら、自分で考え学ぶことができました。例えば、外へ出ようとする人には、それぞれサインがあり、自分が輝いていた頃へ戻りたいという気持ちがあるから出たがる。物とられ妄想の人は、相手に迷惑をかけている事を感じている為、バランスを取ろうとすることによって起きるなど、認知症の行動には、それぞれ理由があることを、改めて理解しながら学ぶことができました。

## 株式会社リハビリサポートまこと主催研修会のご案内

### 平成28年度認知症介護実践研修(実践者研修)

|        |                                    |  |
|--------|------------------------------------|--|
| 【日 程】  |                                    |  |
| 【第1回目】 | 講義・演習<br>実習結果報告まとめ<br>外部実習<br>内部実習 | 平成28年7月16日(土)・17日(日)・23日(土)・24日(日)<br>平成28年8月20日(土)<br>平成28年7月25日(月)～29日(金)(内1日)<br>平成28年7月30日(土)～8月12日(金)(2週間)    |
| 【第2回目】 | 講義・演習<br>実習結果報告まとめ<br>外部実習<br>内部実習 | 平成28年10月22日(土)・23日(日)・29日(土)・30日(日)<br>平成28年11月19日(土)<br>平成28年10月31日(月)～11月4日(金)(内1日)<br>平成28年11月5日(土)～18日(金)(2週間) |

|        |  |
|--------|--|
| 【定 員】  | 最多 50名、最少 30名(予定)  |
| 【会 場】  | 第1回目 緑ヶ岡学園 専門学校釧路ケアカレッジ 3階305号室<br>第2回目 釧路市内                                   |
| 【受講費用】 | 受講料 23,000円 (※外部実習費 3,000円は別途)<br>テキスト代 2,376円 (税込) (「新しい認知症介護(実践者編)」、購入希望者のみ) |
| 【申込期限】 | 第1回目 平成28年6月16日(木)<br>第2回目 平成28年9月22日(木)                                       |



### 平成28年度認知症対応型サービス事業管理者研修

|        |   |
|--------|---|
| 【目 的】  | 認知症対応型共同生活介護および認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護の事業所の管理者に対し、認知症介護や事業所を管理・運営していく上で必要なサービス提供の知識及び技術の習得を図り、認知症高齢者の方に対する介護サービスの充実を図る                         |
| 【対 象】  | 認知症対応型共同生活介護及び認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護等の地域密着型サービス事業所(今後、開設が予定されている事業所を含む)において、管理者に従事する予定の者で管理者研修の受講時点で認知症介護実践研修(旧基礎課程を含む)を修了しており、当法人代表が適当と認めたもの |
| 【日 程】  | 講義・演習 平成28年11月19日(土)・20日(日)   |
| 【定 員】  | 50名   |
| 【会 場】  | 釧路市内  |
| 【受講費用】 | 受講料 18,000円   |
| 【申込期限】 | 平成28年10月19日(水)  |



【問い合わせ先】 〒085-0847 釧路市大町5丁目2番21号  
株式会社リハビリサポートまこと(大町事務所)  
担当者 山田・松下 TEL 0154-44-7733  
FAX 0154-44-7734

## まことクイズ



～今月の問題～

この写真の建物の名前は何か？(釧路市のコミュニティセンター)

1. コア鳥取 2. コア大空 3. コアかがやき



～先月の問題～

この写真の建物の名前は何か？

1. 日本製紙アイスアリーナ 2. 春採アイスアリーナ  
3. 十條アイススケートセンター

回答は、1番の日本製紙アイスアリーナです。

## 職員紹介



**笹島**  
(小規模多機能型居宅介護  
まこと 介護職員)  
1月6日入社

入社して3ヶ月が経ちました。日々学ぶことが多いです。これからも頑張っていきたいです。どうぞよろしくお願いいたします。



**島山**  
(小規模多機能型居宅介護  
やよい 介護職員)  
2月1日入社

少しずつ仕事にも慣れてきて、利用者様との時間を楽しく過ごしています。経験は少ないですが、頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

## ケアプランセンターまことのお知らせ



澄んだ青空が見える春がやって来ました。温かい空気の中で、お散歩やお家の片づけが出来ますね。自然と体がウキウキして、嬉しいですね。  
春は、入学シーズンですが、新しい事を始めるには、もってこいの季節です。毎日、ご自宅で運動や体操をしている方も多いと思いますが、ちょっと本格的に、沢山の方と楽しみを分かち合い、リハビリやレクリエーションを始めるのも、いい気分です。ぜひ、ご自分に合う運動や仲間を見つけ、リフレッシュした毎日を楽しんでください。  
また、ヘルパーサービスやお泊りもできる「小規模多機能サービス」のご利用も安心できます。いつでも、ご相談をお受けいたしますので、気軽にお電話ください。お待ちしております。

ケアプランセンターまこと 管理者 内山  
TEL 0154-68-5531 FAX 0154-68-5399

## 大判タオル・タオル等の寄贈を！

リハビリサポートまことの各施設では、多くの大判タオルやタオル等を必要としています。ご家庭で使用されていないタオル等がございましたら、ご寄付いただけないでしょうか。よろしくお願いいたします。



連絡先 大町事務所  
TEL0154-44-7733 FAX 0154-44-7734(担当松下)

## 現在の空き状況

4月8日現在

| 施設名             | 空き人数 | 備考 | お問い合わせ先 氏名   | 担当者 |
|-----------------|------|----|--------------|-----|
| 小規模多機能型居宅介護まこと  | 2名   |    | 0154-41-3633 | 西崎  |
| アシストリビングホームまこと  | 0名   |    | 0154-41-3633 | 西崎  |
| グループホームまこと      | 1名   |    | 0154-41-8355 | 柴田  |
| グループホームやよい      | 0名   |    | 0154-42-2078 | 石黒  |
| 小規模多機能型居宅介護やよい  | 空き有り |    | 0154-64-5210 | 本間  |
| アシストリビングホームやよい  | 0名   |    | 0154-64-5210 | 本間  |
| 小さなデイサービス緑ヶ岡ホーム | 空き有り |    | 0154-46-4890 | 高橋  |
| 小さなデイサービス大町     | 空き有り |    | 0154-42-8377 | 堤   |

随時ご相談に応じておりますので、  
どんな事でもお気軽にご連絡ください。



ま ころこめて こ の住み慣れた場所で と もに築きます

発行: 株式会社リハビリサポートまこと  
住所: 釧路市大町5丁目2番21号

電話: 0154-44-7733 発行責任者: 山田 勝雄